

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

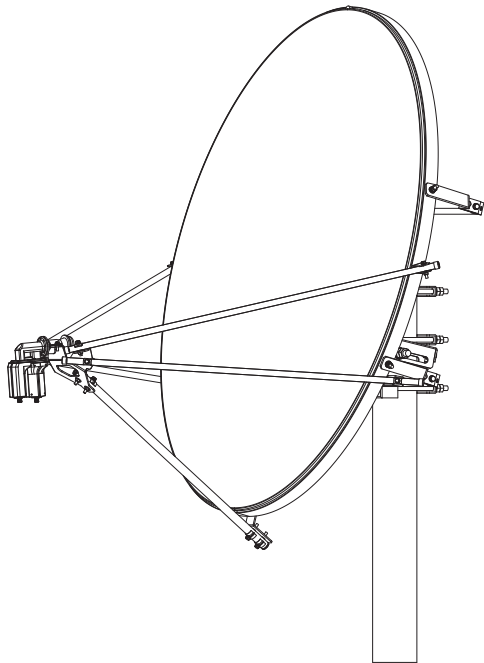
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



120形CSアンテナ

耐風速90m/s仕様

CSA1204H

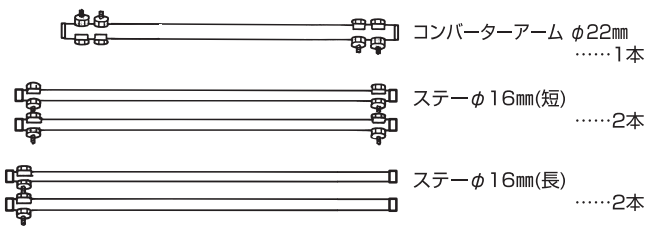
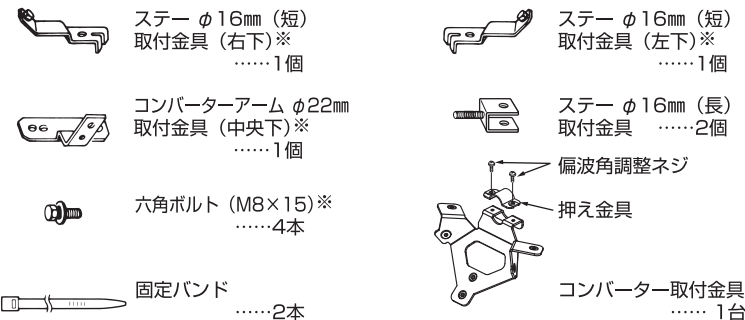
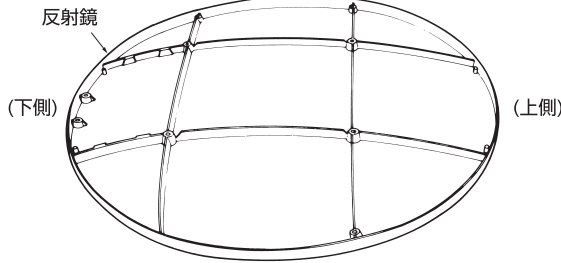


※この製品は必ず別売りの両偏波フィードホーン、コンバーター、マウントと組み合わせて使用してください。
別売品については、4ページを参照してください。
※この取扱説明書は、別売品を含めて説明しています。

もくじ

	ページ
はじめに	
安全上のご注意	2～3
お取扱いの前に	3
設置	
BS・110度CSアンテナ設置について	4
組立・取付	
金具の取り付け	5
アンテナマストへの取り付け	6
仰角調整装置の取り付け	6
アンテナの組み立て	7～8
接栓への同軸ケーブルのつなぎ方	8～9
調整	
アンテナを調整する	10
主な設置地区の仰角と方位角と偏波角	11
仕様	
規格特性	12
外形寸法図	12

■梱包内容



その他 付属品	数 量
六角ボルト (M6×40)	2本
角ワッシャー	2個
スプリングワッシャー(M6)	2個
平ワッシャー(M6)	2個
ハードロックナット (M6)	4個

※ 反射鏡に取り付けてあります。

は
じ
め
に

設
置

組
立
・
取
付

調
整

仕
様

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



○記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてコンバーターが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。（製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。）



- コンバーターに接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱しないでください。火災や感電の原因となります。



- コンバーターのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



- 万一、このアンテナを落としたり、コンバーターを破損した場合は、接続しているチューナーの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。



- ケーブルに無理な力を加えたり傷つけたりしないでください。火災や感電の原因となります。



注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

《販売店・工事店様の安全上のご注意——お客様もお読みください》



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。



- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。



- アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。けがの原因となります。



- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですので設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。
人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。



- 強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。
火災や感電の原因となります。



- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
指定外の締め付け力で組立て、取付しますと落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- コンバーターに接続する同軸ケーブルに電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。
火災や感電の原因となります。



- コンバーターは仕様の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。



- アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。
落ちたりして、けがの原因となります。

注意

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



- このアンテナは、強風の影響を受けやすいので、アンテナの取り付けには、マストおよび取付金具類はアンテナ径により指定された十分強度のあるものを使用し、堅固に設置してください。



- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。
管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認ください。



- アンテナの表面の汚れは、水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布で、軽く拭きとってください。
シンナー、ベンジンをはじめ薬品や洗剤は、表面の仕上げを傷めますので、使用しないでください。

お取扱いの前に

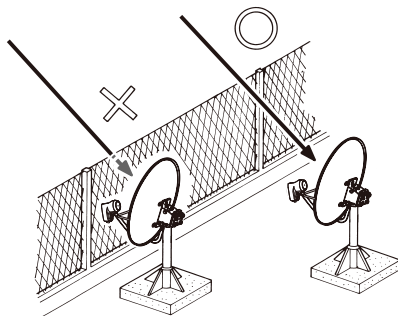
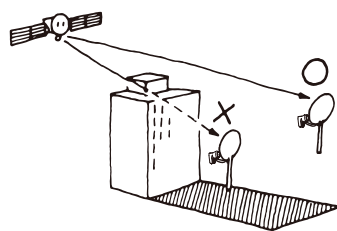
- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 取付のときは、2人以上で行なってください。
- 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪が付着すると、電波が弱くなり、受信できなくなる場合があります。
- 設置後、万一締め付けや取り付けにゆらみが生じると危険ですので、定期的に点検をしてください。
- 出力端子に取り付ける同軸ケーブルの心線径が1.0mmより太いものを使用する場合は、必ずコンタクトピン付のC15形接栓を使用してください。心線径が1.0mmより太い同軸ケーブルを直接接続すると故障の原因となります。
- 同軸ケーブルに使用する接栓は、同軸ケーブルに適したC15形のピン付き接栓を使用してください。
- 同軸ケーブルの接栓取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を加工してご使用ください。
特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。

CSアンテナ設置について

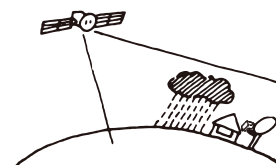
CSアンテナ設置のポイント

衛星放送をより良く受信していただくために、次の事項にご注意ください。

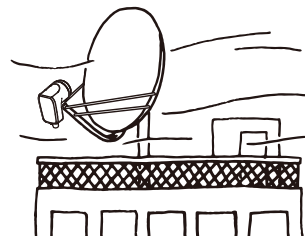
- 受信方向にビルや鉄塔、樹木などの障害物がある場合は、電波の受信に大きく影響します。電波障害の起こらない所か、樹木では成長や繁茂することを考慮に入れて、陰にならない所を選んで設置してください。



- 衛星からの電波は微弱です。そのため豪雨、厚い雲、雪によって、一時的に画面がチラついたり、音声途切れたりしますので、天候の悪い日は設置しないでください。



- このアンテナを取り付けるマストは、とくに屋上など高い場所に設置する時に、台風などの風に長期間耐えうるようにし、しっかりと固定してください。

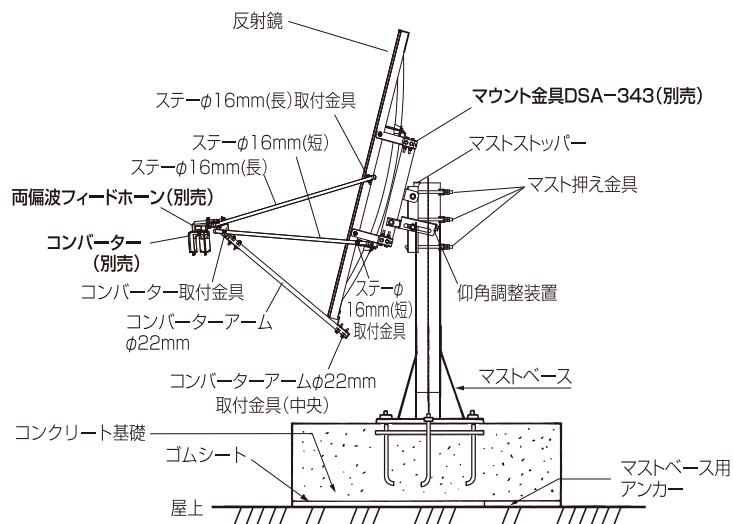


- このアンテナを、煙突の近くなど高温になる場所には設置しないでください。

CSアンテナの設置例

ご注意

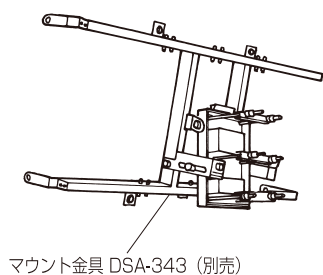
- アンテナマストは垂直に立ててください。
- 屋上などに設置する場合は、強度・安全確保や防水処理が必要ですので、専門業者へご相談ください。



別売品について

〈120形BS/CSアンテナ用マウント金具(※以下"マウント金具") : DSA-343〉

- ※ マウント金具 DSA-343 (別売) は耐風速90m/s仕様の120形アンテナ専用のマウント金具です。必ずこのマウント金具をご使用ください。
- ※ 120形アンテナは、マスト中間取付けはできません。



マウント金具 DSA-343 (別売)

六角ボルト (M12×20)・スプリングワッシャー
.....4セット



六角ボルト (M8×40)・スプリングワッシャー・平ワッシャー・ハードロックナット (オス、メス)
.....4セット

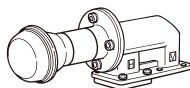


六角ボルト (M8×40)・スプリングワッシャー・平ワッシャー
.....2セット

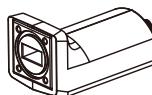


部 品 名	数 量
120形固定マウント金具DSA-343	1セット
120形固定マウント	(1台)
六角ボルト (M12×20)	(4本)
スプリングワッシャー (M12)	(4個)
六角ボルト (M8×40)	(6本)
平ワッシャー (M8)	(10個)
スプリングワッシャー (M8)	(10個)
ハードロックナット (M8)	(4組)

〈両偏波フィードホーン CSP5〉



〈コンバーター〉



システムに合ったDXアンテナ製のコンバーターをご使用ください。なお、コンバーターの仕様については、お買い上げの販売店もしくはDXアンテナ製品取扱店にご相談ください。

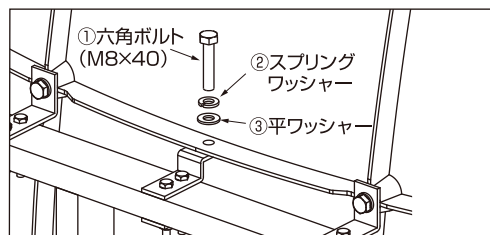
金具の取り付け

■ マウント金具 DSA-343 (別売) の取り付け

下記の①～⑩の部品は、マウント金具DSA-343(別売)の構成部品です。

ご注意

反射鏡とマウント金具の上下に注意し、反射鏡とマウント金具の取付穴が合うようにして取り付けてください。

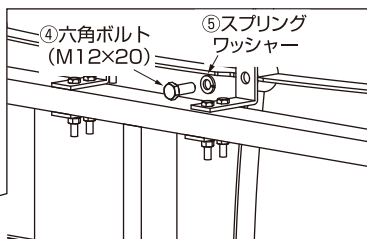


(上側)

リブ穴
(反射鏡中心部)

1 六角ボルト(M8×40)とスプリングワッシャー、平ワッシャーを反射鏡のリブ穴(反射鏡中心部)*とマウント金具中心部の反射鏡取付金具のL金具のネジ穴*に通して、仮止めしてください。

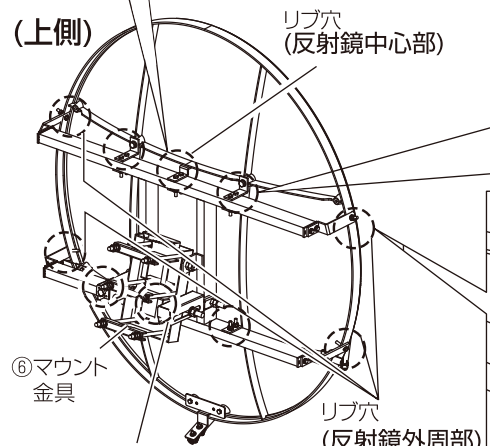
※:仮止めは反射鏡の2か所で行ってください。



2

六角ボルト(M12×20)とスプリングワッシャーを反射鏡取付金具のL金具のネジ穴*を通して、反射鏡のマウント取付ネジ穴へ入れ、仮止めしてください。

※:仮止めは反射鏡の2か所で行ってください。



(下側)

リブ穴(反射鏡中心部)

リブ穴
(反射鏡外周部)

3

六角ボルト(M8×40)とスプリングワッシャー、平ワッシャーをリブ穴(反射鏡外周部)のマウント金具取付穴*と、マウント金具*の反射鏡取付金具のL金具*の穴に通して、スプリングワッシャー、平ワッシャー、ハードロックナット(M8)(2個)で仮止めしてください。

※:仮止めは反射鏡の4か所で行ってください。

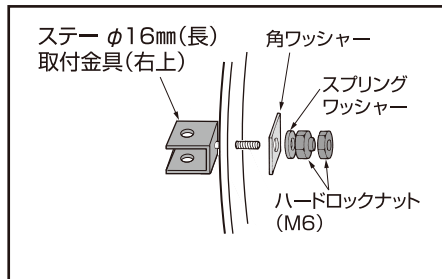
仮止めした順序に、10か所を強固に(下記の〈ネジの締付トルクの基準〉を参照)締付けてください。

■ コンバーターアーム取付金具とステー取付金具の取り付け

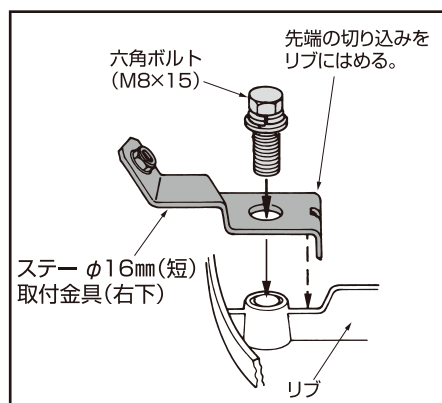
ご注意

ステー φ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)と、コンバーターアーム取付金具(中央下)は、反射鏡から一旦取外してください。

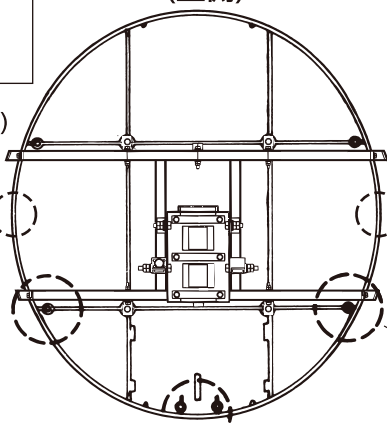
1 ステー φ16mm(長)取付金具(右上)および(左上)は、下図のように取付けて仮止めしてください。



2 ステー φ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)は、下図のように取付方向を変えます。



(上側)



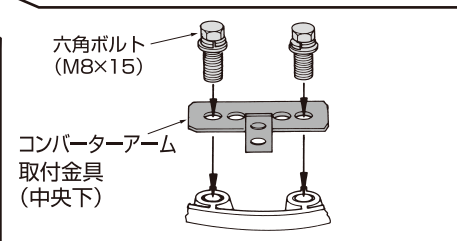
(下側)

コンバーターアーム取付金具(中央下)

〈ネジの締付トルクの基準〉

ネジの呼び	最終固定時の最適締付トルク
M5	2~3N・m(20~30kgf・cm)
M6	4~5N・m(40~50kgf・cm)
M8	10~12N・m(98~118kgf・cm)
M12	35~42N・m(343~412kgf・cm)
M16	85~100N・m(833~980kgf・cm)

3 コンバーターアーム取付金具(中央下)は、下図のように取付方向を変えます。



注: ネジ・ボルトの締付トルクは上記の〈ネジの締付トルクの基準〉を参照してください。

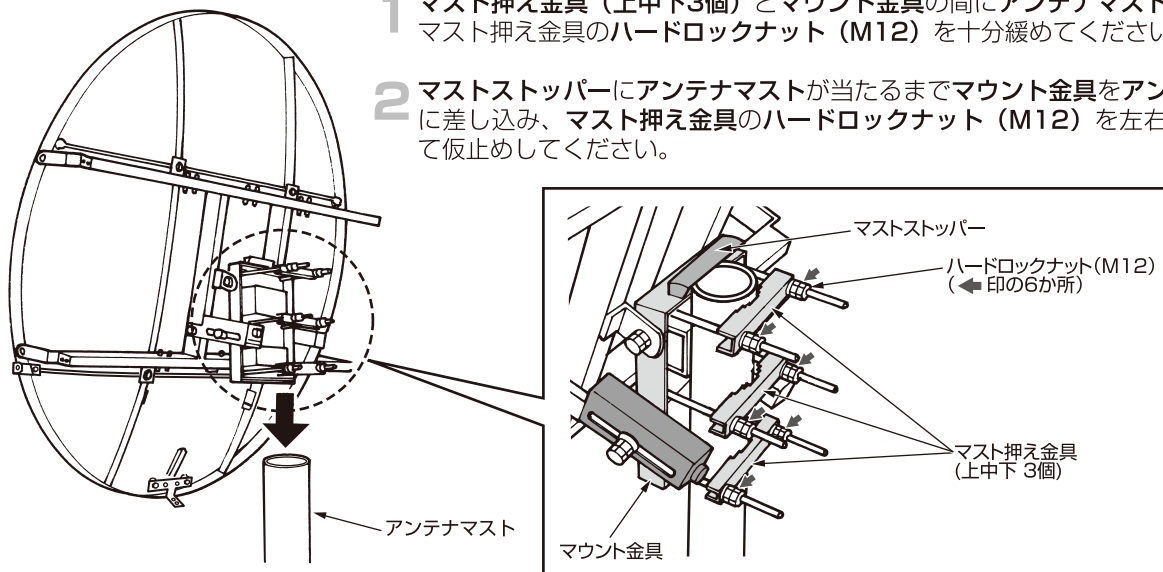
※ステー φ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)は、左右逆に取り付けられないように注意してください。

アンテナマストへの取り付け (作業は安全のため2人以上で行ってください。)

- アンテナマストが垂直に立っていることを確かめた後に、アンテナを取り付けてください。
- このアンテナは、マスト径φ114.3mm専用に設計しています。
必ず、マスト径φ114.3mm (JIS 100A) のマストベースをご使用ください。

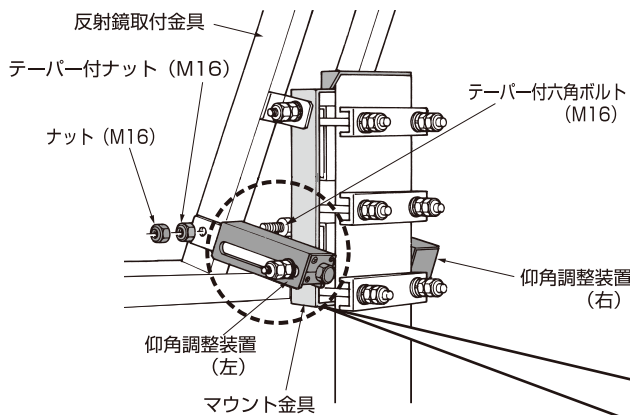
1 マスト押え金具 (上中下3個) とマウント金具の間にアンテナマストが入るようマスト押え金具のハードロックナット (M12) を十分緩めてください。

2 マストストッパーにアンテナマストが当たるまでマウント金具をアンテナマストに差し込み、マスト押え金具のハードロックナット (M12) を左右均等に締めて仮止めしてください。

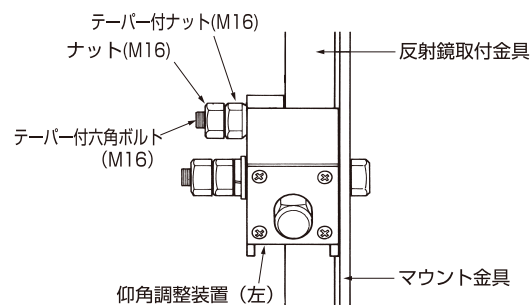


仰角調整装置の取り付け

- 下図のように仰角調整装置 (左) および (右) を反射鏡取付金具に取り付けられているボルト (M16)・ナット (M16) を用いて反射鏡取付金具に取り付けます。



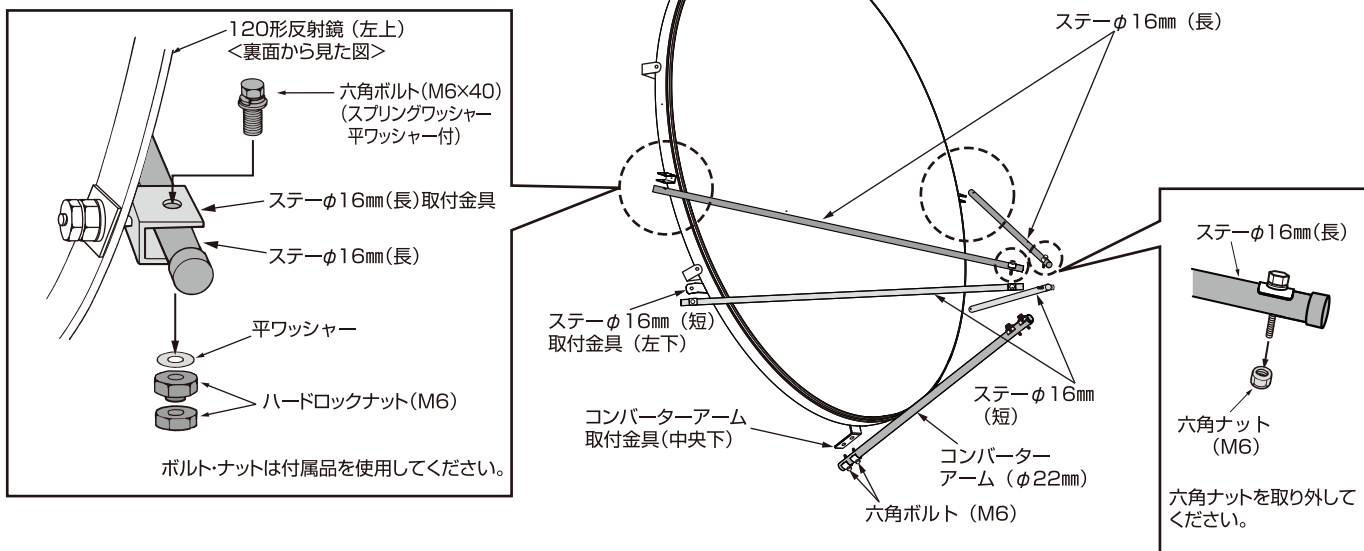
- 仰角調整装置取り付けのテーパー付六角ボルト (M16)、テーパー付ナット (M16)、ナット (M16) を取り付けてください。



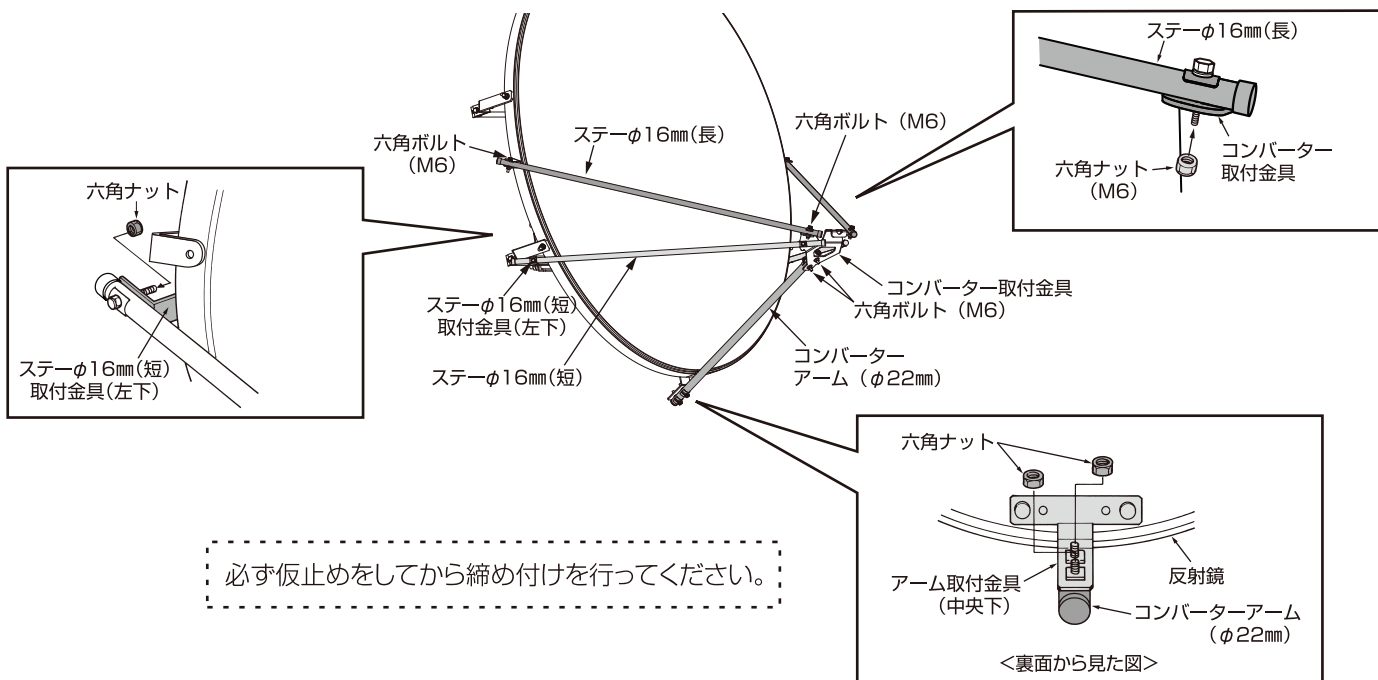
アンテナの組み立て

■ コンバーターアームとコンバーター取付金具の取り付け

- 1 反射鏡に取り付けたコンバーターアーム取付金具(中央下)に、コンバーターアーム($\phi 22\text{mm}$)をアームの先端についている2本の六角ボルト(M6)で仮止めしてください。
- 2 反射鏡に取り付けたステー $\phi 16\text{mm}$ (短)取付金具(右下)および(左下)に、ステー $\phi 16\text{mm}$ (短)2本をステーの先端についている六角ボルト(M6)で仮止めしてください。
- 3 ステー $\phi 16\text{mm}$ (長)2本を、それぞれ反射鏡に取り付けたステー $\phi 16\text{mm}$ (長)取付金具(右上)および(左上)に
はめ込んでから、六角ボルトを上方から穴に通してください。
下方からハードロックナット(M6)で
仮止めしてください。



- 4 コンバーター取付金具を、コンバーターアーム $\phi 22\text{mm}$ 、ステー $\phi 16\text{mm}$ (長)およびステー $\phi 16\text{mm}$ (短)についている六角ボルト(M6)で仮止めしてください。
 - 5 コンバーターアーム $\phi 22\text{mm}$ 、ステー $\phi 16\text{mm}$ (短)の各ボルトを反射鏡側から強固に締め付けて、一旦はずした六角ナット(M6)をボルトにはめ合わせて、締め付けてください。
 - 6 3で仮止めしたステー $\phi 16\text{mm}$ (長)(2か所)を強固に締め付けてください。
 - 7 一旦はずした六角ナット(M6)をボルトにはめ合わせて、締め付けてください。
- 注:ボルトの締付トルクは5ページの〈ネジの締付トルクの基準〉を参照してください。

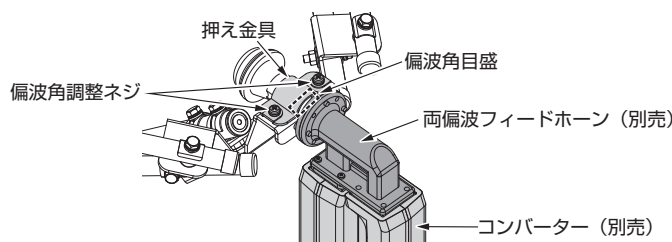


両偏波フィードホーンの取付けおよび偏波の設定

- コンバーター取付金具の偏波角調整ネジをゆるめて、押え金具を一度取りはずし、下図のように両偏波フィードホーンを取付けて偏波角調整ネジを締め付けてください。(注)

※両偏波フィードホーンへのコンバーター取付け方法については、コンバーターおよび、両偏波フィードホーンに付属の取扱説明書をご覧ください。

〈両偏波フィードホーンをご使用の場合〉



- ・垂直偏波を受信する場合
Vシールの下にコンバーターを取付けてください。
- ・水平偏波を受信する場合
Hシールの下にコンバーターを取付けてください。

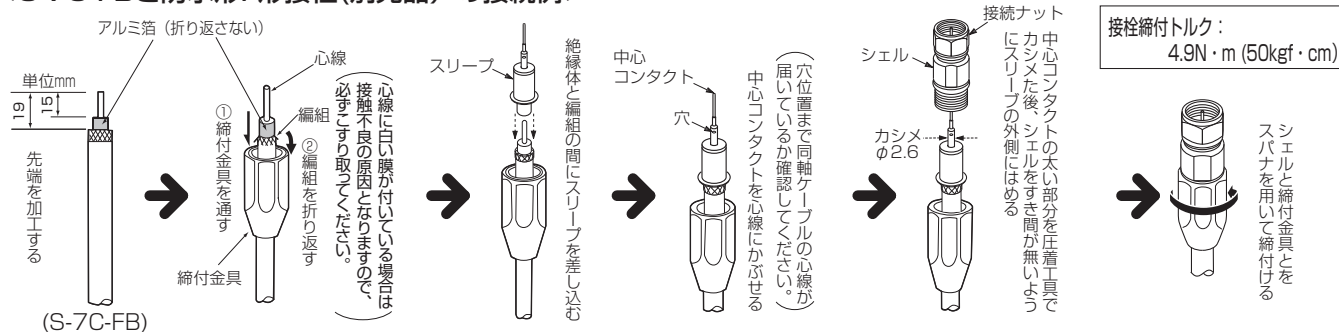
注：ネジ・ボルトの締付トルクは5ページの〈ネジの締付トルクの基準〉を参照してください。

同軸ケーブルの接続方法と出力端子への接続

接栓の種類によって同軸ケーブルとの接続方法が変わります。

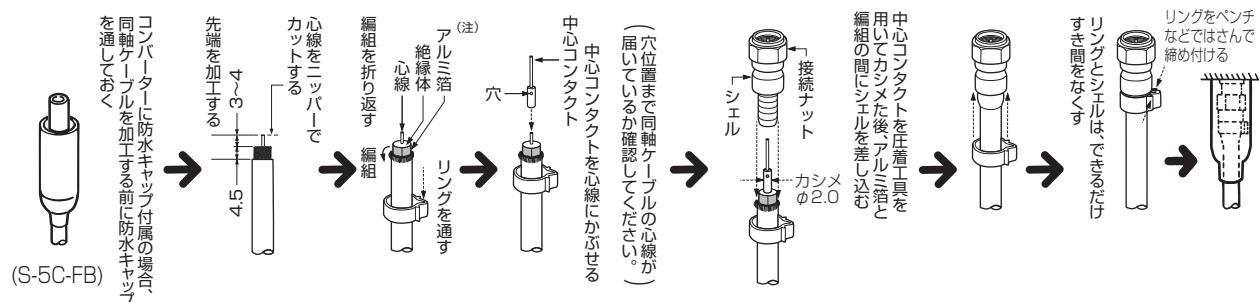
- ・7C相当の同軸ケーブルをご使用になる場合：防水形F形接栓をご使用ください。また、電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルはS-7C-FBの低損失のケーブルをお勧めします。
- ・5C相当の同軸ケーブルをご使用になる場合：F形接栓と防水キャップをご使用ください。また、電波を効率よく伝送するため、同軸ケーブルはS-5C-FBの低損失のケーブルをお勧めします。

＜S-7C-FBと防水形F形接栓(別売品)の接続例＞



- 接栓は同軸ケーブルに適したサイズのものをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけないでください。断線の原因になります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。

＜S-5C-FBとF形接栓(別売品)の接続例＞



- 防水キャップは同軸ケーブルを加工する前に通しておき、取付後は容易に抜けないことを確認してください。
- 防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。
- 接栓は同軸ケーブルに適したサイズのものをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけないでください。断線の原因になります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。

出力端子への接栓の接続と防水処理

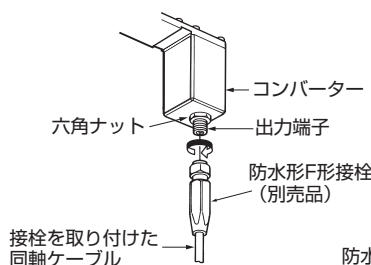
- 図のようにコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1～2N・mで締め付けてください。(2N・mを超えると破損するおそれがあります。)

(ご注意)

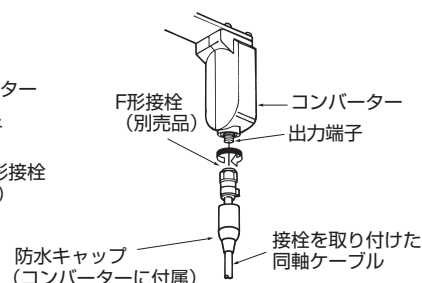
締付トルク1～2N・m

出力端子の六角ナットは絶対に緩めないでください。緩めると雨水が入り故障の原因になります。DXアンテナ製以外のコンバーターを使用すると構造上取付かない場合があります。

〈防水形F形接栓の接続〉



〈F形接栓の接続〉



接栓の防水処理

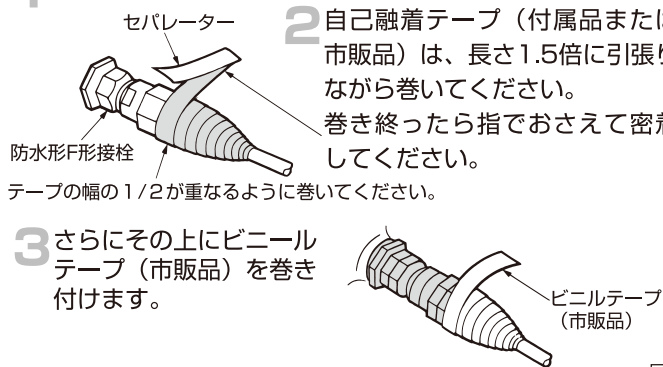
●出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

〈防水形F形接栓使用のコンバーターの防水処理〉

1 自己融着テープを巻き付けます。

2 自己融着テープ（付属品または市販品）は、長さ1.5倍に引張りながら巻いてください。巻き終わったら指でおさえて密着してください。

3 さらにその上にビニールテープ（市販品）を巻き付けます。

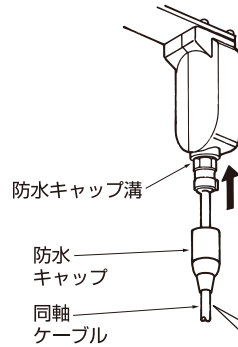


〈防水キャップ使用のコンバーターの防水処理〉

1 同軸ケーブルに通しておいた防水キャップをずらしてコンバーターの防水キャップ溝に防水キャップを差し込んでください。

（ご注意）

防水キャップは、コンバーターの防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。内部に雨水など入ると故障の原因となります。



テープで巻かない！

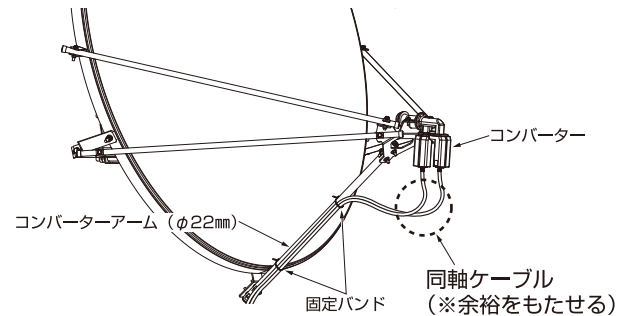
禁止

コンバーターや防水キャップにはビニールテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。



同軸ケーブルの固定方法

1 同軸ケーブルは図のように余裕を持って引きまわし、付属のケーブル固定バンド（2本）を用いて、コンバーターアーム（φ22mm）に固定してください。



アンテナの仰角・方位角の設定

〈仰角の設定方法〉

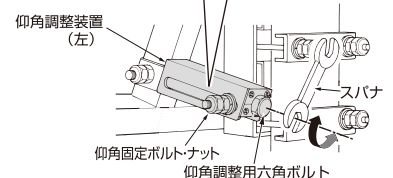
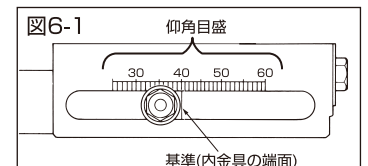
1 仰角調整装置（左）／（右）の仰角固定ボルト・ナットを緩めます。

2 アンテナ設置地区の仰角になるように、基準（内金具の端面）を仰角目盛に合わせます。（「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」（11ページ）参照）

3 1で緩めた仰角固定ボルトを仮止めます。

※仰角調整装置（右）は補強用です。方向調整は仰角固定ボルトを緩めた状態で行ってください。

※正確な仰角の調整は、CS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いて行います。



〈方位角の設定方法〉

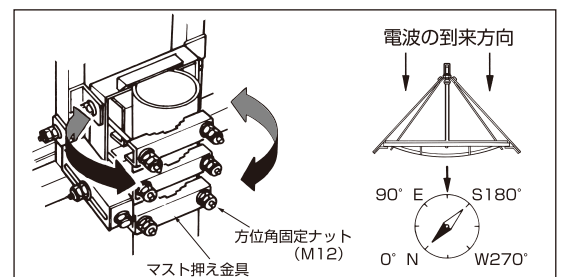
1 マスト押え金具の方位角固定ナット（M12）（6か所）を緩めます。

2 アンテナ設置地区の方位角になるように、反射鏡の向きを合わせます。（「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」（11ページ）参照）

3 1で緩めた方位角固定ナット（M12）（6か所）を仮止めます。

※ビルの屋上など市販の方位磁石の近くに磁性体がある場合は、方位磁石が正確に働かない場合があります。この場合は、方位磁石を移動させながら正確な方位角を求めてください。

※正確な方位角の調整は、CS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いて行います。



仰角、方位角、偏波角の正確な調整

本書ではCSアンテナの正確な方向調整を、CS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いる方法で説明します。

- 1 CSアンテナをCS・BSレベルチェッカーまたは通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザーまたはCSチューナーなどに接続してください。(図1)
- 2 コンバーター電源(DC15V)は、CS・BSレベルチェッカーなどから通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してコンバーターへ供給してください。
- 3 偏波角調整ネジを緩めます。
- 4 アンテナ設置地区の偏波角になるようにフィードホーンを回転させて、偏波角目盛りを押え金具の矢印に合わせて偏波角調整ネジを締め付けてください。
(「主な設置地区の仰角と方位角と偏波角」(11ページ)参照)
- 5 仰角固定ボルト(M16)・ナットを緩めます。
- 6 マスト押え金具の方位角固定ナット(M12)(6か所)を緩めます。
- 7 反射鏡を左右にゆっくりと振り、CS・BSレベルチェッカーの入力レベルが最大となるよう調整します。
- 8 反射鏡が左右にずれないように注意しながら3で緩めた方位角固定ナット(M12)(6か所)を仮止めします。
- 9 仰角固定ボルト(M16)・ナットを緩めます。
- 10 仰角調整用六角ボルトを回し、反射鏡の向きを上下にゆっくりと振り、CS・BSレベルチェッカーの入力レベルが最大となるよう調整します。
- 11 反射鏡が上下にずれないように注意しながら6で緩めた仰角固定ボルト(M16)・ナットを仮止めします。
※この時、サイドローブと間違えないために、最大入力レベルを通り越して次のピークとなるところまで仰角および方位角を調整して、図の特性になっていることを確認してください。その後、最大入力レベル時(メインローブ)の仰角および方位角にアンテナの方向を戻してください。
(仰角および方位角/レベルの振れ)特性参照)
- 12 偏波角調整ネジを緩めます。(図3)
- 13 交差偏波のレベルを確認してください。
※垂直偏波を受信中は、CS・BSレベルチェッカーの設定を水平偏波にしてレベルが最小になるように両偏波フィードホーンを回転させてください。
※スペクトラムアナライザーを使用する場合は、受信波形の谷が一番深い位置にフィードホーンを回転させてください。(図4)
- 14 偏波角度調整ネジを強固に締め付けてください。
注:ネジ・ボルトの締め付トルクは5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉を参照してください。
- 15 矢印で示すボルトおよびナット(12か所)を強固に締め付けます。(図5)
※方位角のボルト・ナット締め付けは方位角がずれないように左右均等に行なってください。
注:ネジ・ボルトの締め付トルクは5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉を参照してください。
- 16 偏波・仰角・方位角を固定した後、ズレのないことをCS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどで再確認してください。

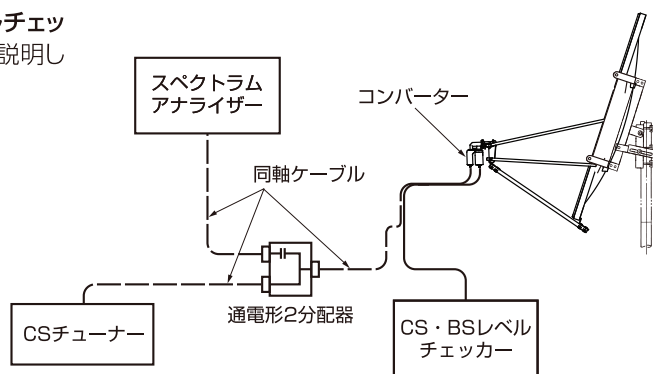


図1

(仰角および方位角/指示レベル) 特性

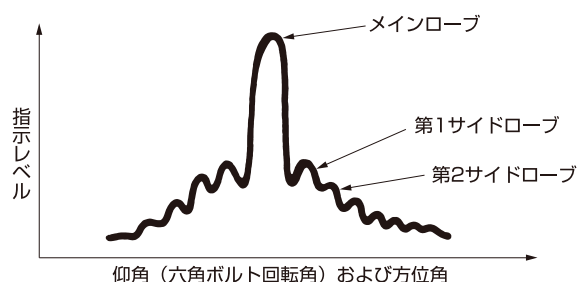


図2

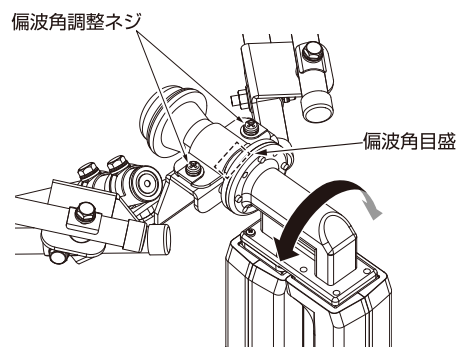


図3

スペクトラムアナライザー受信波形と偏波角調整

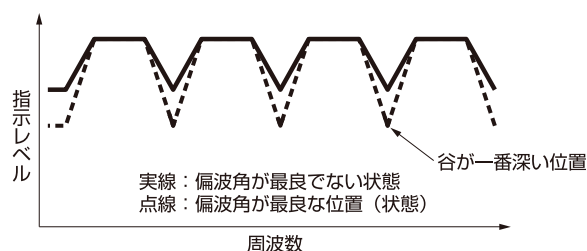


図4

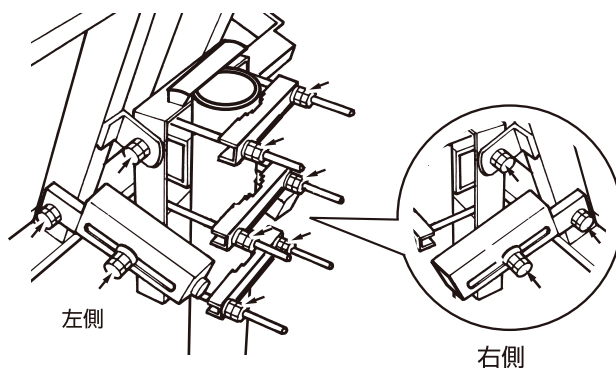


図5

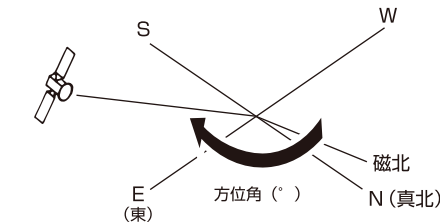
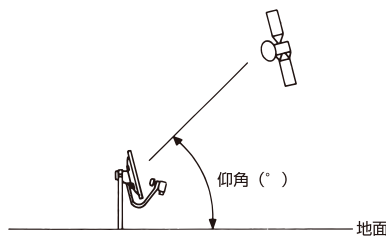
主な設置地区の仰角と方位角と偏波角

仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。

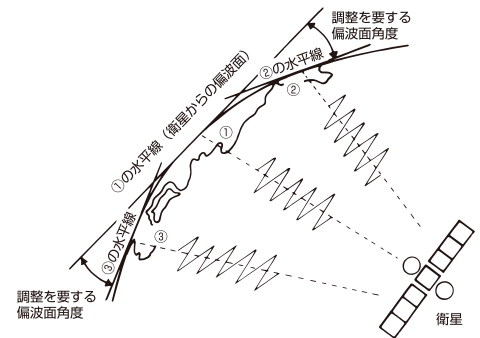
●仰角…受信点から衛星を見上げた角度

●方位角…真北から東回りに測った衛星の角度

●偏波角…受信点から衛星を見た偏波面の傾き



※磁北…方位磁石が示す北



※表の方位角は方位磁石が示す北(磁北)から時計回りにみた時の角度です。方位磁石を使用する場合の参考に使用してください。

都 市	JCSAT-4号 東経124°			JCSAT-3号 東経128°			スーパーバード号 東経144°			JCSAT-1号 東経150°			JCSAT-2号 東経154°			スーパーバードB号 東経162°		
	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角	仰 角	方位角	偏波角
稚 内	35	211	17	36	205	13	38	183	10	37	175	-8	36	169	18	34	159	12
旭 川	36	212	18	37	207	15	40	184	10	39	176	-8	38	170	18	36	159	12
根 室	35	216	21	37	211	18	40	189	14	40	180	-5	39	174	21	37	163	14
釧 路	36	215	20	38	210	17	40	187	12	40	178	-6	39	173	20	37	162	13
札 幌	37	211	18	39	206	14	40	183	9	40	174	-9	39	168	17	36	158	10
函 館	39	211	18	40	205	14	42	182	8	41	173	-10	40	167	16	37	156	9
青 森	40	211	18	41	206	14	43	182	8	42	173	-11	41	167	15	38	156	8
盛 岡	41	212	20	42	207	15	44	182	9	43	173	-10	42	167	15	39	156	8
秋 田	41	211	18	42	205	14	44	180	7	43	171	-12	42	165	14	39	154	7
郡 山	43	212	20	45	206	16	46	181	7	45	171	-12	44	165	13	41	153	5
仙 台	42	213	20	44	207	16	46	182	8	45	172	-11	44	166	14	40	155	6
山 形	42	212	20	44	206	15	46	181	7	45	171	-12	43	165	13	40	154	6
福 島	43	212	20	44	206	16	46	181	7	45	171	-12	44	165	13	41	154	6
新 潟	43	210	18	45	204	14	46	178	6	45	169	-14	43	163	12	40	152	4
水 戸	44	213	21	46	207	16	48	181	7	47	171	-13	45	164	12	42	153	5
宇 都 宮	44	212	20	46	206	16	47	180	6	46	170	-13	45	164	12	42	152	4
千 葉	45	212	21	47	206	16	48	179	6	47	169	-14	46	163	11	42	152	3
さいたま	45	212	20	47	206	16	48	179	6	47	169	-14	46	163	11	42	151	3
土 浦	45	213	21	46	207	16	48	180	7	47	170	-13	46	164	12	42	152	4
前 橋	45	211	19	46	205	15	47	178	5	46	168	-14	45	162	11	41	151	3
甲 府	46	211	19	47	204	14	48	177	4	47	167	-15	45	161	10	42	150	2
東 京	45	212	21	47	206	16	48	179	6	47	169	-14	46	163	11	42	151	3
横 浜	46	212	21	47	206	16	49	179	6	47	169	-14	46	163	11	43	151	3
厚 木	46	212	20	47	206	15	49	179	6	47	169	-15	46	162	10	42	151	3
野 木	45	209	18	46	203	13	47	177	4	46	167	-15	44	161	10	41	150	3
静 岡	47	211	20	48	204	14	49	177	4	48	167	-16	46	161	9	42	149	1
浜 松	47	210	19	48	203	14	49	176	3	48	166	-17	46	159	8	42	148	0
富 山	45	208	17	46	202	12	47	175	3	45	166	-17	44	160	9	40	149	2
金 沢	46	207	16	47	201	11	47	174	2	45	165	-17	44	159	8	40	148	1
岐 阜	47	208	17	48	201	12	48	174	2	47	164	-18	45	158	7	41	147	0
津 市	48	208	17	49	201	12	49	173	1	47	164	-19	46	158	7	41	147	-1
名古屋	47	208	18	48	202	12	48	174	2	47	165	-18	45	158	7	41	147	0
豊 橋	47	209	18	48	203	13	49	175	3	47	165	-17	46	159	8	42	148	0
福 井	46	207	16	47	200	11	47	173	1	46	164	-18	44	158	7	40	147	0
大 津	47	207	16	48	200	11	48	173	1	47	163	-19	45	157	6	41	146	-1
京 都	47	206	16	48	200	11	48	172	0	47	163	-19	45	157	6	41	146	-1
奈 良	48	206	16	49	200	11	49	172	0	47	162	-20	45	156	6	41	145	-2
大 阪	48	206	16	49	200	11	49	172	0	47	162	-20	45	156	5	41	145	-2
堺	48	206	16	49	200	11	49	172	0	47	162	-20	45	156	5	41	145	-2
神 戸	48	206	16	49	199	10	49	171	0	47	162	-20	45	156	5	41	145	-2
姫 路	48	205	15	49	198	9	48	170	-1	46	161	-21	45	155	5	40	144	-2
和 歌 山	48	206	16	49	199	10	49	171	-1	47	161	-21	45	155	5	41	145	-3
鳥 取	47	204	14	48	197	9	47	170	-1	45	161	-21	44	155	5	39	144	-2
松 江	47	202	12	48	195	7	47	168	-3	45	159	-22	43	153	4	38	143	-3
岡 山	48	204	14	49	197	8	48	169	-2	46	160	-22	44	154	4	40	143	-3
広 島	49	201	12	50	194	6	48	167	-4	46	157	-24	44	151	2	39	141	-5
徳 島	49	205	15	50	198	10	49	170	-2	47	160	-21	45	154	4	41	144	-3
高 松	49	204	14	50	197	9	49	169	-2	47	160	-22	45	154	3	40	143	-3
松 山	50	202	13	50	195	7	49	167	-4	47	157	-24	45	152	2	40	141	-5
高 知	50	203	14	51	196	8	49	168	-3	47	158	-23	45	153	2	40	142	-5
山 口	50	199	10	50	192	4	48	164	-6	45	155	-26	43	149	0	38	140	-6
福 岡	50	198	10	51	191	4	48	163	-8	46	154	-27	43	148	-1	38	138	-7
下 関	50	199	10	50	192	4	48	164	-7	46	155	-26	43	149	0	38	139	-6
北 九 州	50	199	10	50	192	4	48	164	-7	46	155	-26	43	149	0	38	139	-7
大 分	50	200	11	51	193	6	49	165	-6	47	155	-26	44	150	0	39	140	-7
熊 本	51	199	10	52	192	4	49	163	-8	47	154	-27	44	148	-1	39	138	-8
佐 賀	51	198	10	51	191	4	49	163	-8	46	153	-27	44	148	-2	39	138	-8
長 崎	51	197	9	52	190	3	49	162	-9	46	152	-28	44	147	-2	39	137	-9
宮 崎	52	200	12	53	193	5	50	164	-7	48	154	-27	46	148	-2	40	138	-8
鹿 児 島	53	199	11	53	191	4	50	162	-9	48	152	-28	45	147	-3	40	137	-9
奄 美 大 島	56	198	10	57	190	3	53	158	-13	50	148	-33	47	143	-8	41	133	-14
那 覇	59	195	7	59	186	-1	54	153	-18	51	144	-38	48	138	-12	41	129	-18
石 垣 島	62	187	0	61	177	-8	54	145	-25	49	137	-44	46	132	-18	39	124	-23

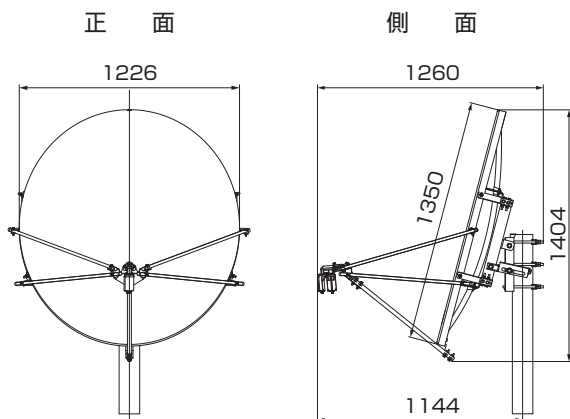
規格特性

品名	120形CSアンテナ
型番	CSA1204H
アンテナ有効性 (cm)	120
受信周波数 (GHz)	12.2~12.75
利得 (dB)	41.5以上
耐風速 (m/s)	90 注1)
質量 (kg)	22.0

注1) 耐風速は破壊風速です。

仕様は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図



寸法はアンテナ仰角40°ポール径φ114.3mmの場合の120形BS/CSアンテナ用マウント※および両偏波フィードホーン※使用時の目安の最外形寸法です。

※120形BS/CSアンテナ用マウントおよび両偏波フィードホーンの型番は4ページをご覧ください。

製品に関する
お困りごとを解決!

DXサポ!

DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
[1002] QRコードからアクセスしてください。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

保証書

型番		CSA1204H	
販売店	ご住所・ご店名		
	電話 () -		
お客様	お名前	ふりがな	様
	ご住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 電話 () -	
お買上年月日		保証期間	お買上日から
年 月 日		1 年 間	

●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く) したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本保証書を提示・添付されていない場合。
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 製品対価以上の保証はいたしません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター
土・日・祝日もご利用ください!
DXアンテナ株式会社
5233-4



0570-033-083

■ 受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合: 050-3818-9016

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>